

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和5年3月3日

事業所名 クラスルームという

保護者等数（児童数）54名（58名） 回収数 38名 割合 70.4%（65.5%）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今は少人数なのでスペースがあると思う ・全体があまり見えない ・楽しそうに毎回活動しています ・もう少し広げればいいなあと思います ・十分に広いので安全面でも申し分ないです ・一緒に遊んでいなくてもお友達のことを感じられるような、ちょうどいい広さだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育では17.5㎡（設置目安の7倍程度）、集団療育では子ども1人あたり15.36㎡（設置目安の6倍程度）の十分なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	35	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員さんの人数は少ないと思います ・その日1日担当の先生がしっかり対応している 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定の人員配置よりも、3名多く配置しています。 ・また、外部機関のスタッフも配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	37	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールチェックを、本人がやってもきちんと次の場所が理解できるように教室が整っている。 ・1人ひとりのスケジュールがあり、絵や記号・文字など本人に合った方法で提示されているのでわかりやすいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団療育スペースはバリアフリー化しており、子どもたちが活動する指導訓練室は、視覚的に認識できるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	38	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・靴下をはかなくても安全に活動出来るように床はいつもきれいです。手洗い場もあり、すぐ洗えるようになっている。 ・セッションの後、先生方が消毒されているのを見かけました！室内も明るく良い雰囲気です。 	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	38	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと聞き取りしていただいでから作成していただいている ・細かく、詳しく作成されていて、様子を見て追加などの提案をして下さりありがたいです。 	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	37	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした支援内容だと思う ・ガイドラインが良くわからないが、専門性の高い事業所なので適切であると安心していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインとは、サービスの質の向上を図るため、厚生労働省において定められています。事業を実施するにあたって必要となる基本的事項、提供すべき支援の内容等が示されています。 ・ガイドラインは厚生労働省ホームページに掲載されており、というの事務所にも閲覧用ファイルを設置しておりますので、是非ご覧ください。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	38	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回いろいろと考えて支援していただいている 	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	35	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、チェックしていただきながら活動している。 ・週ごとにいろいろあって良いです ・1人で取り組む製作があったりお友達と関わられるゲームがあったりして色々な子どもの姿を見ることが出来ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの遊びやイベントを実施しております。 ・同じ活動でも、個々の発達や成長に合わせた内容になるよう考慮しております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	3	16	10	<ul style="list-style-type: none"> ・90分というみじかい時間での療育なので、他との交流はむずかしいと思う。 ・保育園に通っているので 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育時間に限りがあるため他園等との交流などは難しく、申し訳ございませんが、新たな機会の提供も考えておりません。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	2	0	1	・年度が新しくなる時に説明があった	・ご不明な点などが解消できるように、より丁寧に分かりやすい説明に努めます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	36	2	0	0	・ていねいな説明でした	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	20	7	4	7	・先生とお話しできる時間がなかなかない ・鏡(保護者席)から観察はしているが、学ぶというところではないと思う。 ・具体的なアドバイスなどがそれに代わると感じています ・(行われていないが)勉強会があって大変ありがたい ・オンラインの勉強会があり、親も勉強になっています。	・職員には、お気軽にお声かけください。 ・R4年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、ZOOMを活用した研修会を2回実施いたしました。 ・コロナが落ち着き、対面での開催が可能な状態になれば、対面で保護者の皆様のご不安や疑問などを解消できる企画を検討していきます。 ・外部団体の研修なども、掲示や回覧にてお知らせしております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	37	1	0	0	・毎回、連絡帳に伝えあっている。 ・毎回、帰り時にはその日の様子についての報告や、家での様子を聞いて下さったり、先生方がよく会話をしてくれるのでありがたいです。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38	0	0	0	・90分の療育終了後、軽くその日のことについて話していただいている。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	9	8	10	・zoomでの開催で直接がなかなかないので、いつもの同じクラスの親さん方とお話するぐらい。 ・同じクラスの保護者と子どもの活動の様子を見ながら話す時間はあります。悩みを相談したり、できたことを一緒に喜んだり貴重な時間になっています。	・保護者の方の交流の場を設けるに至っておりませんが、集団療育の際の保護者席がそういった場になればと考えております。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33	4	0	1	・連絡帳に書いていた事に対してその日のうちにくわしく聞いて下さりアドバイスしてください。 ・先生に相談をする翌週くらいには「こうしたらどうか？」と提案をしていただけるので助かっています。	・お困りの際はお気軽にお声かけください。迅速な対応を心がけております。 ・連絡帳もご活用ください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	2	0	0		・当方からの声かけを心がけております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	5	1	6	・毎回次の月の毎週の日程や、おすすめしたい事をプリントにまとめて渡していただいている。	・定期的にお知らせ等配布しておりますが、分かりづらい事などございましたらお気軽にお問合せください。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	38	0	0	0			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	13	6	2	17	・感染対策は毎回チェックシートに書かせていただいているが、その他のマニュアルはわからない。	・事業所では、「防災計画」や「感染症対応マニュアル」を策定しており、事務室に閲覧用ファイルをご準備しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4	3	23	・訓練はあっていると思うが、見たことがないので不明。	・年2回保健福祉会館で行われる避難訓練に、職員が参加しております。 ・今後さらに、独自の避難訓練等を実施していきたいと考えております。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	38	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、ニコニコで教室に入ります。 ・通所していない日でも先生やお友達の話をしています！ 	
	23	事業所の支援に満足しているか	36	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・引き落としにしてください ・たくさんの療育をしてくださり満足です ・中の声が聞こえるとよりいいと思います 	

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。